

小さなきんちやく

底布付き

普通地（シーチング、ブロード、オックス等）を使って作るきんちやくです。底布付きで丈夫です。2本のひもを両側に引いて締めるので、力のない小さいお子様でも扱いやすい形です。マグカップ入れなどに。



作品サイズ：16×21cm
(ひもを含みます)

材料

- 布（普通地） 18×50cm 1枚
- 底布（普通地）18×13cm 1枚
- カラーひも（中細） 55cm×2本
- ※布やテープなど、素材は中温以上のアイロンをかけられるものをお使いください。ポリエステルなど接着しにくい素材は、事前に接着テストをして接着できるか確認してください。

準備するもの

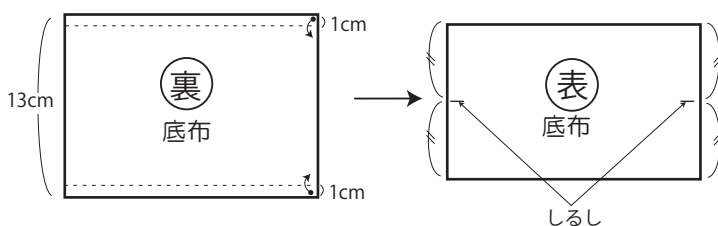
- 58-444 布用強力ボンド「貼り仕事」
- 定規（30cm程度）
- アイロン（中温・ドライで使用）
- アイロン台
- あて布（メッシュでない綿布）
- 布切りはさみ
- しるしつけペン（あとで消せるタイプ）
- 35-111 スピードひも通し（長・短2本セット）
- 目打ち（袋の角を出す時に便利です）
- 22-736 仮止めクリップ（布を重ねる時などの仮止めに便利です）
- 水で湿らせたタオル（はみ出したボンドをふき取ります）

☆仮止めクリップはアイロン接着前に取り外してください。
☆アイロン接着時はあて布を使用してください

布を袋にします

- ① 底布を図のように裏向きに置き、上下1cmずつ内側にアイロンで折ります。折る時に「貼り仕事」のパッケージ台紙に付属した「折り目つけゲージ」を使うと便利です。（「折り目つけゲージの使い方」参照）

- ② 底布を表向きにして図のように短辺の中央のところにしるしをつけます。



折り目つけゲージの使い方

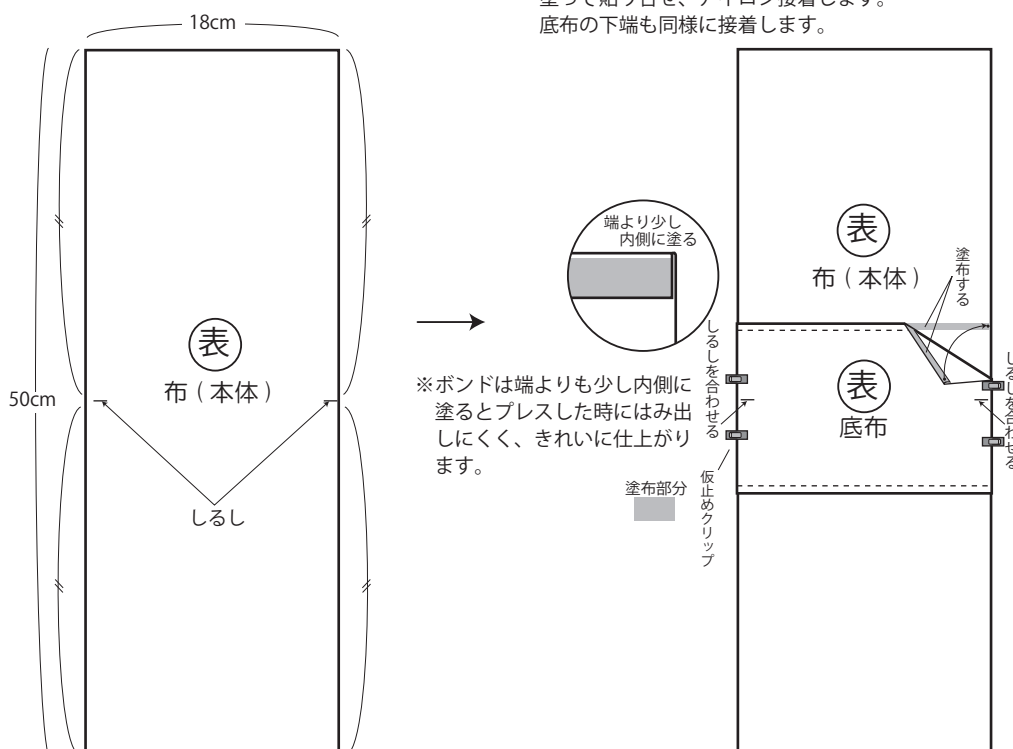
《1cmの折り目をつける場合》

折り目をつけたい高さに合わせて布地を折り、ドライアイロンで折り目をつけます。

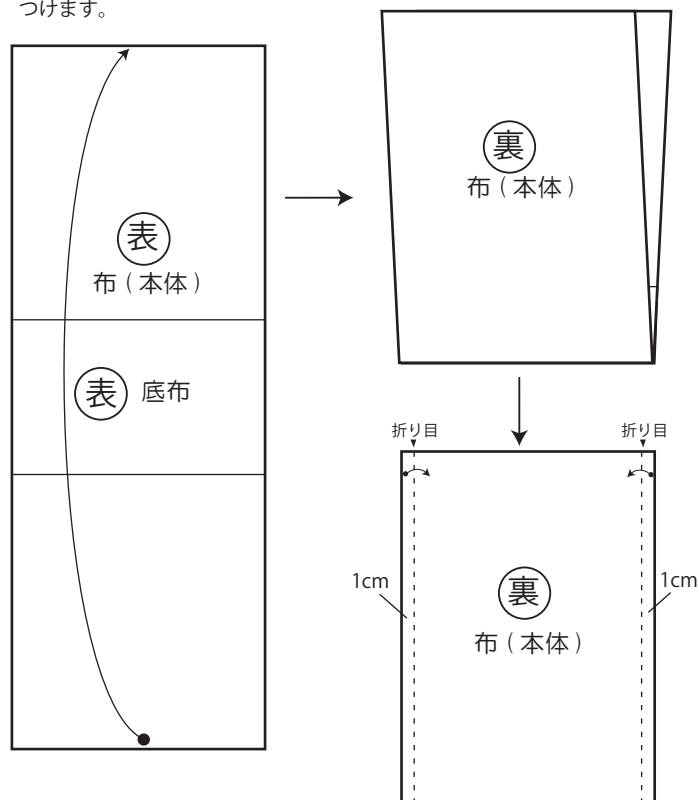
※イラストはあて布を省略しています。

- ③ 布（本体）を表向きにして図のように長辺の中央のところにしるしをつけます。

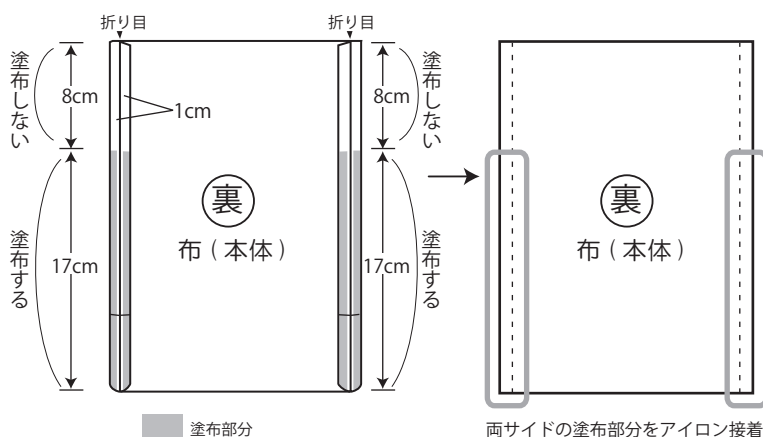
- ④ 布（本体）と布（底布）を接着します。布（本体）の上に布（底布）を置き、しるしを合わせて仮止めクリップで止めます。底布の上端で裏に折った部分に「貼り仕事」を塗り、塗布部分が重なる布（本体）の部分にも「貼り仕事」を塗って貼り合せ、アイロン接着します。底布の下端も同様に接着します。



- ⑤ 布（本体）を中表に2つ折りにして、両側1cmずつ内側にアイロンで折り目をつけます。

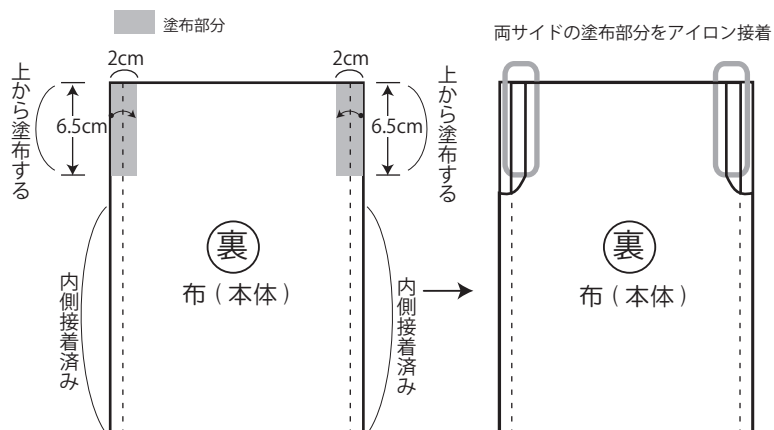


- ⑥ 両サイド1cmの折り目を開き、折り目の1mm内側、下から17cmの高さまで「貼り仕事」を塗ります。（折り目ギリギリまで塗るとプレス時にはみ出します）両サイドを貼り合わせ、アイロンで接着します。袋状になりました。

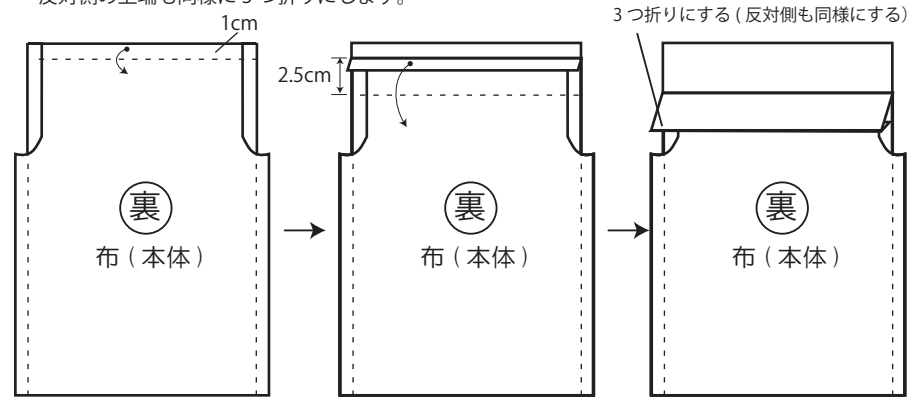


ひもとおし口をつくります

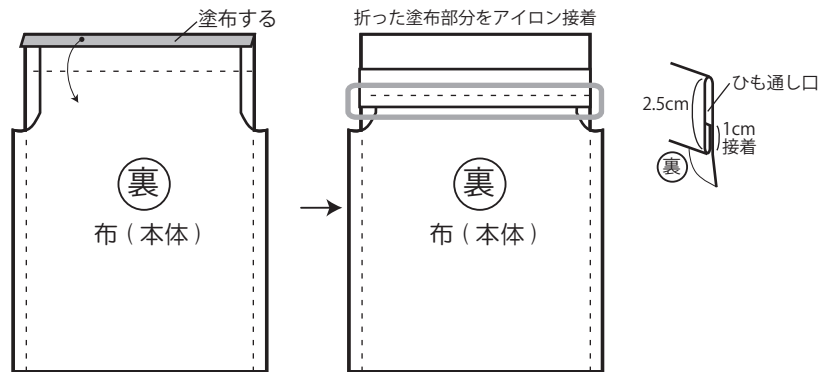
- ⑦ 布の上になっている方の1枚の両端の上から6.5cmのところまで、折り目を中心に幅2cmで布の上に「貼り仕事」を塗布します。折り目で折ってアイロン接着します。布を反対向けにして同様にして上端をアイロン接着します。



- ⑧ 手前側の布の上端1cmをアイロンで折り、更に2.5cmアイロンで折って3つ折りにします。反対側の上端も同様に3つ折りにします。

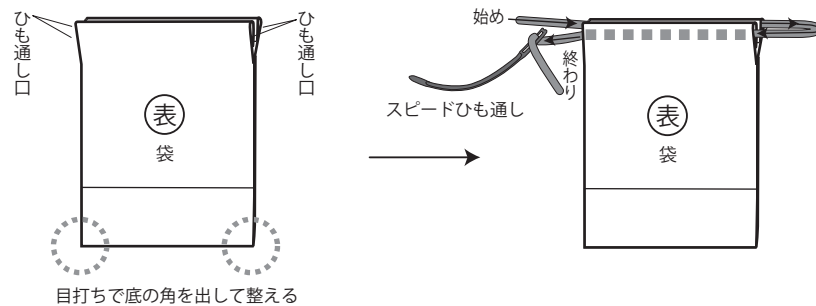


- ⑨ ⑧で3つ折りにした時に最初に折った1cm幅の部分に「貼り仕事」を塗布し、折り目に沿って3つ折りにしてアイロン接着します。布を反対向けにして同様に3つ折り部分をアイロン接着します。ひも通し口ができました。



ひもを通します

- ⑩ 袋を裏返して表向けにします。目打ちできれいに底の角を出します。袋に軽くアイロンをかけて形を整えます。ひも1本をスピードひも通しに通してから、ひも通し口に図の順で通します。



- ⑪ 通し終えたひもは両端を一緒にして結びます。もう1本のひもを図の順序で通し口に通し、ひもを結ぶとできあがりです。

